

徳島県の交通マナー 改善に向けて

NGL グループ12

板野高校2年 岩佐優希実 城之内高校2年 大北沙奈

城東高校2年 猪子明花 徳島北高校2年 荒川宗次郎

*1 徳島県の統計情報 自動車 12月19日

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/752025.xls>

*2 効果的な広報について 12月18日

kento215_07_shiryoy1-2.pdf (fdma.go.jp)

1 概要

徳島県は以下のような現状に問題意識を持っている

- ・「交通安全・交通マナーに悩む住民が多い都道府県ランキング1位」
- ・「自分の住む都道府県の交通マナーが悪いと感じる住民が多い都道府県2位」
- ・全国の死亡事故の45%は交差点で起こっている
→徳島県においては58%にのぼる

2 背景・先行事例

交通安全・交通マナーに悩む住民が多い 都道府県ランキング		
順位	都道府県名	%
1	徳島県	13.5
2	香川県	9.6
2	福岡県	9.6
4	栃木県	9.3
5	茨城県	9.2

図1 [交通安全・交通マナーに悩む住民が多い都道府県 & 主要都市ランキング【2019完全版】](#)

[日本全国SDGs調査ランキング | ダイヤモンド・オンライン\(diamond.jp\)](#)

10月23日

Q10	とても 良いと思う	良いと思う	普通	悪いと思う	とても 悪いと思う
全体	0.9%	10.4%	50.4%	31.3%	7.0%
北海道	0.9%	6.8%	45.1%	39.7%	7.6%
青森	1.1%	6.1%	44.0%	36.9%	11.9%
岩手	2.1%	27.1%	52.7%	15.6%	2.5%
宮城	0.3%	8.7%	51.2%	32.1%	7.7%
福島	1.1%	14.6%	59.8%	20.9%	3.5%
秋田	1.8%	20.1%	56.1%	18.8%	3.2%
山形	1.0%	14.8%	55.0%	24.7%	4.6%
新潟	1.2%	11.7%	50.4%	30.4%	6.3%
長野	0.7%	14.8%	50.0%	28.6%	5.9%
茨城	0.9%	2.7%	29.2%	48.8%	18.4%
栃木	0.5%	7.5%	41.7%	38.8%	11.6%
群馬	0.8%	11.1%	49.3%	31.9%	6.9%
埼玉	1.1%	12.4%	62.1%	21.3%	3.2%
千葉	0.9%	8.0%	55.2%	30.5%	5.4%
東京	1.4%	17.3%	60.6%	18.3%	2.4%
神奈川	1.1%	17.7%	62.1%	17.2%	1.8%
山梨	0.6%	6.7%	41.1%	40.8%	10.8%
富山	0.9%	12.8%	48.9%	32.0%	5.4%
石川	0.4%	6.3%	42.7%	40.7%	9.9%
福井	0.8%	2.5%	38.4%	47.7%	10.5%
岐阜	0.7%	16.0%	61.0%	19.5%	2.7%
静岡	0.8%	16.4%	55.9%	22.7%	4.1%
愛知	0.8%	3.3%	36.6%	45.8%	13.5%
三重	0.6%	11.3%	55.7%	25.9%	6.5%
滋賀	1.7%	12.3%	62.2%	20.3%	3.4%
京都	0.9%	11.9%	56.9%	26.7%	3.6%
大阪	0.7%	3.8%	36.6%	47.1%	11.8%
兵庫	0.8%	10.4%	58.0%	26.8%	4.0%
奈良	1.2%	13.3%	56.6%	25.1%	3.9%
和歌山	0.2%	9.0%	56.3%	29.6%	4.9%
鳥取	2.6%	14.6%	42.2%	32.8%	7.8%
島根	1.4%	22.6%	59.2%	14.7%	2.1%
岡山	0.4%	4.4%	36.5%	44.1%	14.5%
広島	1.0%	6.3%	51.7%	35.2%	5.9%
山口	1.5%	18.0%	61.1%	16.9%	2.5%
徳島	0.3%	1.7%	24.5%	51.9%	21.7%
香川	0.0%	1.1%	18.8%	53.0%	27.0%
愛媛	0.2%	7.4%	48.7%	36.4%	7.4%

図2 JAF 「交通マナー」に関するアンケート調査 11月15日

https://jaf.or.jp/-/media/1/2590/2610/2639/2641/2648/201606_headline-enquete.pdf

(1) 無謀運転による交通事故発生状況

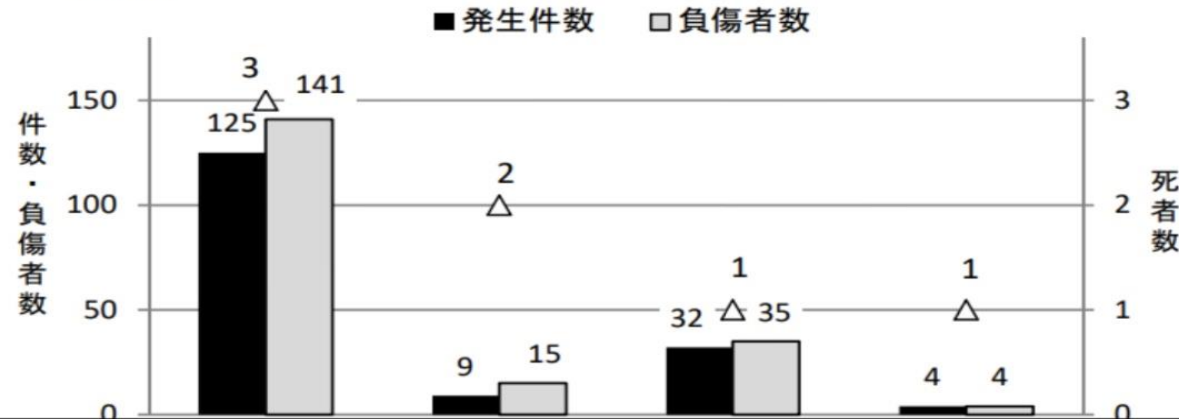
区分	令和元年			平成30年			増減数		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
無謀運転	170	7	195	168	8	204	2	△1	△9
全事故	2,515	41	3,027	2,809	31	3,460	△294	10	△433
構成率(増減率)	6.8	17.1	6.4	6.0	25.8	5.9	(1.2)		(△4.4)

注 件数・死者・負傷者は第一当事者による。

△は減少を示す。

(2) 原因別等交通事故発生状況

ア 違反別



区分	信号無視	最高速度違反	追越し違反	酒酔い運転	合計
発生件数	125	9	32	4	170
死者数	3	2	1	1	7
負傷者数	141	15	35	4	195

図4 徳島

県警察 17無謀運転による交通事故

<https://www.police.pref.tokushima.jp/wp-content/uploads/post18433/0583972c5779958333832cb90cad6e3c.pdf> 11月13日

ウ 曜日別

発生件数は火・金曜日が多く、死者数は土曜日が8人で最も多い。

区 分	日	月	火	水	木	金	土	合 計
発生件数	246	385	409	375	382	406	312	2,515
死者数	5	9	6	6	5	2	8	41
負傷者数	312	479	474	448	441	481	392	3,027

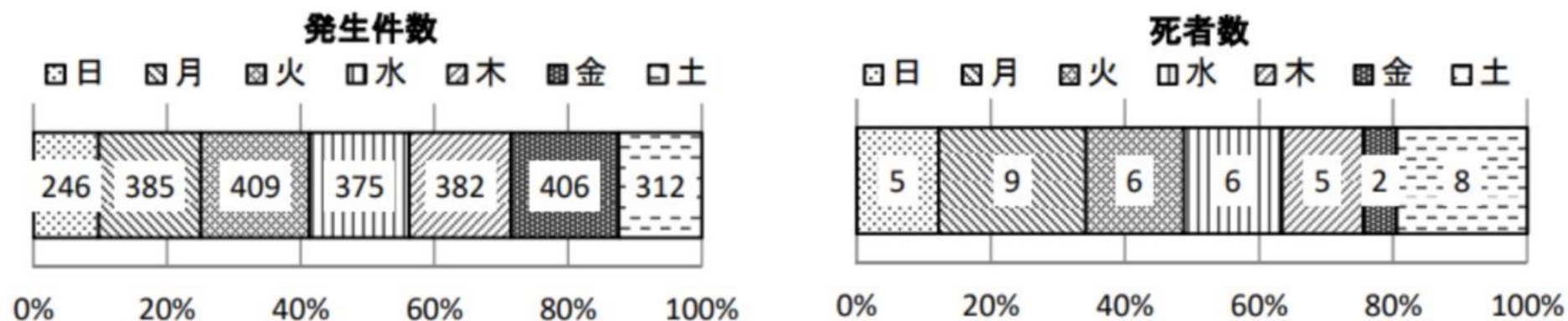


図5 徳島県警 曜日別事故発生件数

3 検証方法・検証結果

＜検証方法＞

- ・7月26日(月)から8月1日(日)までの1週間、17:00から17:15の15分間、観測を行った。
- ・信号無視を「黄信号または赤信号で発進すること、また青信号に変わる前に発進すること」と定義する。
- ・各自動画を撮影、総交通量と信号無視車両数を計測、その割合を日ごとに出した。

* 夏休み中の調査であるため、帰省してきた県外の車両も含まれている可能性がある。

→7月末の調査であること、新型コロナウイルス感染症の関連で県外からの帰省者が減っていたことを加味し、得られたデータはすべて県内在住のドライバーのデータであると仮定して、観測・考察した。

* 7月、8月の事故発生件数は他の月と大差はない



＜元町交差点での観測＞

- ・平日の交通量が多い
- ・違反率は月曜日が最も多く、金曜日に向けて下がり、土曜日と日曜日も大きくは下がらなかった
- ・信号無視車両は他の2か所と比べて多く、元町交差点で事故が多発する原因の1つは信号無視であると考えられる



元町交差点 8月1日（日）



＜撫養町齊田交差点での観測＞

- ・近くに駅があり、住宅は少なく、飲食店や公共施設があるため休日のほうが交通量が多いのではないかと予想していた
→平日のほうが若干多いという結果だった



- ・違反率は月曜日が高く、火曜日から金曜日に掛けては低く、日曜日に跳ね上がっている

- ・交通量と危険運転車数の関係を見ると、最も危険運転率の高い日曜日が、最も交通量が少ない曜日であった



＜藍住キョーエイ笠木店前交差点での観測＞

- ・1番交通量が多い
- ・信号無視車両の割合は元町交差点よりは低い
が、撫養町齊田交差点より高い
- ・違反率は他の2か所に比べて変化が少なく、
最も少ないのが月曜日で木曜日、土曜日、日曜
日が多かった



藍住キョーエイ笠木店前交差点 7月26日(月)

<検証結果>

- ・信号無視の割合は毎日1%以上、多い時には10%近くにのぼる
- ・総交通量の平均が最も多いのは藍住キョーエイ笠木店前交差点、最も少ないのは撫養町齊田交差点であった
- ・信号無視車両の割合が最も大きいのは元町交差点、最も小さいのは撫養町齊田交差点であった



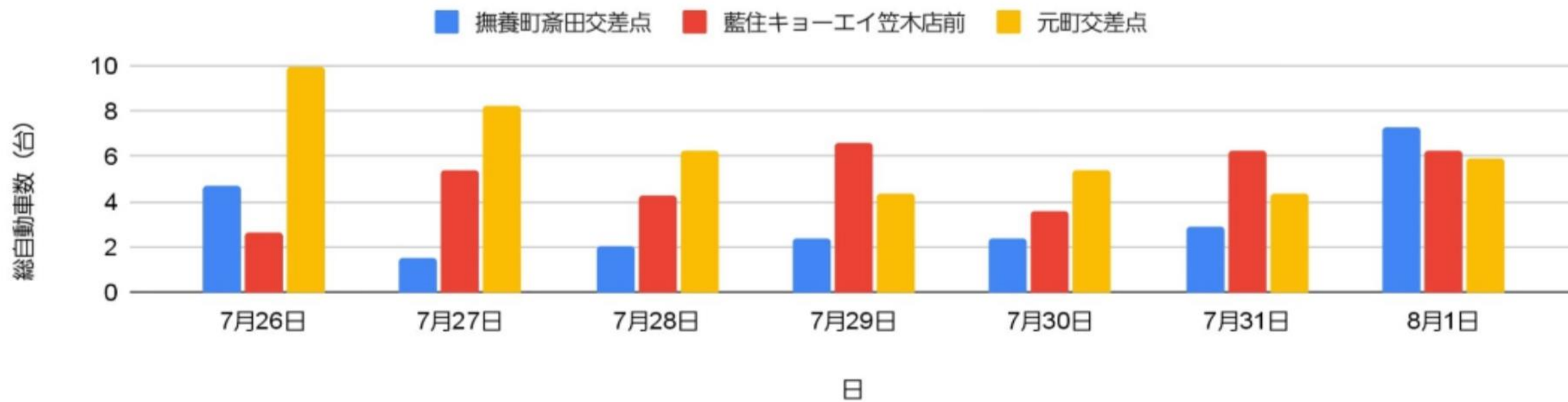
日ごとに見ると、撫養町齊田交差点は、8月1日の元町交差点、7月26日と8月1日の藍住キョーエイ笠木店前交差点の数値に比べて信号無視車両の割合が多い

- ・3か所で共通して、黄信号になった直後に徐行を始める車はほとんど見られず、交通量が少ないときや、1台のみで後続車がない場合も信号無視は見られた

- ・県警のデータによると交通事故発生件数は火曜日と金曜日が多く、死者が発生する事故は土曜日が多い

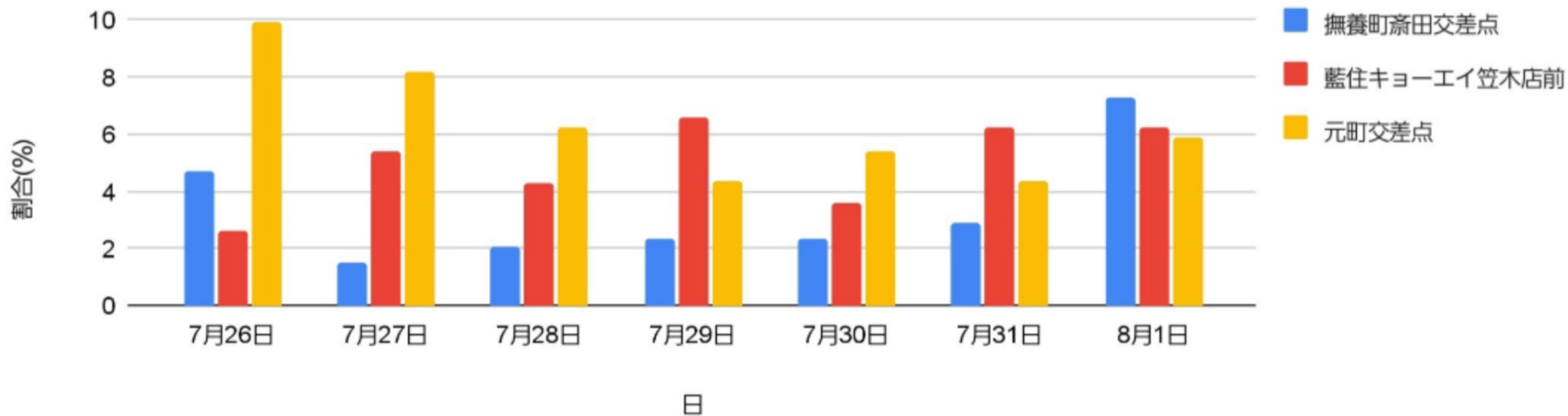
→この1週間の調査では明らかな関連性や、阿波の黄走りは確認できなかった

道路交通調査結果（総自動車数）



道路交通調査 総自動車数

道路交通調査結果(信号無視の割合)



道路交通調査 総自動車数に占める信号無視車両数の割合

4 考察・提言

<考察>

日ごとに見ると、総交通量と信号無視車両数の関連性は少し見られた

→黄信号のときにやってくる車両数が少なかっただけのときがあった

データの取り方にもう少し工夫が必要

交通量が少ないときや、やってくる車が1台のみで後続車がない場合でも信号無視は見られた

→県内在住のドライバーには信号無視に違反意識を強く感じていない人もいることが推測できる



＜提言＞

徳島県として、小中学生が作成する交通安全ポスターの利用

例：阿南町で行われていたポスター利用

→通学路や商店街などに貼ることで多くの人の目に触れる
